

生ごみゼロを めざしましょう！

私たちの生活の中で、毎日必ず出るごみ。その1/3をしめるのが生ごみです。
でも、その生ごみも、ちょっとした工夫で減らすことができます。その一つが
「コンポスト」=堆肥への利用です。

あなたも「コンポスト」=堆肥化で生ごみゼロをめざしてみませんか。

「生ごみゼロ宣言！」

生ごみを減らそう！

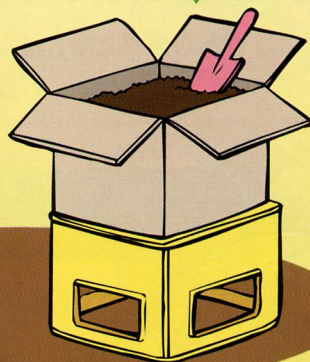
食べ残し、使い残しを減らし、
食料品の買いすぎにも注意しま
しょう。

生ごみをリサイクルしよう！

特別な処理機を使わなくても、簡単
に生ごみをリサイクルする方法があ
ります。それが「段ボールコンポスト」
です。



段ボール
コンポストを
実践して
みよう！



★ 段ボールコンポストに関するお問い合わせ ★

鴨島環境センター（鴨島地区） TEL.24-5697 FAX.24-5129
西環境センター（川島・山川・美郷地区） TEL.42-5333 FAX.42-5062

段ボールコンポストに挑戦!!

●準備しましょう

- ・段ボール箱(みかん箱程度の大きさ)
- ・板状の段ボール(二重底用)
- ・ピートモス(15%以上)
- ・もみ殻くん炭(10%以上)
- ・風通しのいい台
(底に水がたまらないよう
すのこ状のものがよい)
- ・コンポストキャップ
- ・小型スコップ(シャベル)
- ・温度計(100度計)

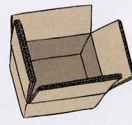
※「ピートモス」と「もみ殻くん炭」を
3:2の割合で混ぜて下さい。

(例) 15% : 10%
(18) (12)

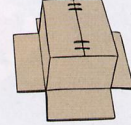


箱の選び方、ここがポイント!

①防水加工していないもの。



②二重のハニカム構造が丈夫で長持ちします。

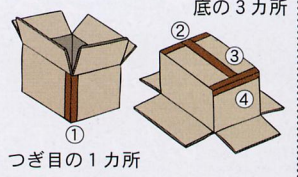


③裏面が針止めしてあるものが良い。
ガムテープ止めの場合は、ビニール
より紙テープの方が長持ちします。
(通気性がよいため)

虫の季節の対策

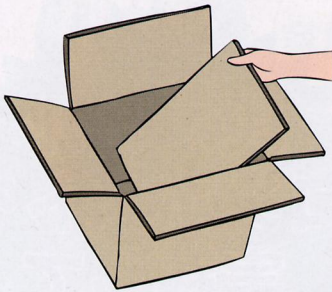
①底から虫が入りやすいので、図のように
4カ所をガムテープ(紙製)かテーピング
などでめばりしてください。

②コンポストキャップをかぶせます。
コンポストキャップは使い古しの衣類で
作れます。(LサイズのTシャツなど)

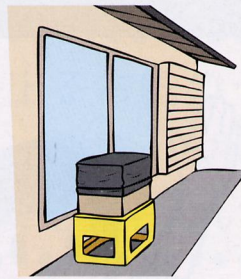


●設置しましょう

①箱の底を二重にしましょう。
こうすると長持ちします。

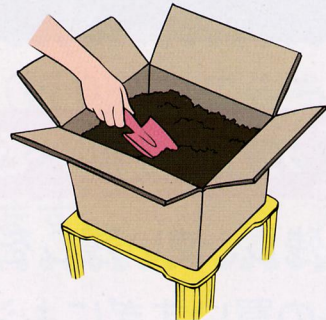


②置き場所を決めましょう。



雨がかからない、できれば日当たりの良い
場所を選びましょう。
風通しの良い台に段ボール箱を置きます。

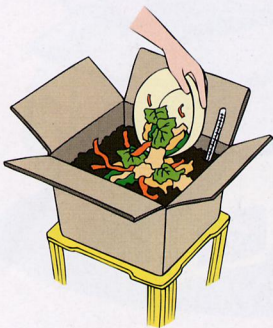
③基材を箱に入れましょう。



基材(ピートモスともみ殻くん炭)を 段
ボール箱に移し、よく混ぜ合わせます。

●さあ、使いましょう

①生ごみを入れましょう。



②よく混ぜましょう。



1日500g~1kgを目安に生ごみを投入。

※1 堆肥(コンポスト)にしましょう。

箱の側面近くを混ぜすぎないのがコツ。

③虫よけのためコンポストキャップを
かぶせましょう。冬場は保温効果が
あります。



※2 温度計を中心にさしてふたをし、
コンポストキャップをかぶせます。

※1 段ボール箱の使用期間は3ヶ月程度です。段ボールが水分を含んで型くずれしてきます。堆肥(コンポスト)として利用するには、庭があれば土の中で熟成させるのがベストです。庭がない場合は、そのまま段ボール箱の中で、時々水分を加え、切り返しながらか分解させます。温度の上昇がなくなれば堆肥として使えます。(2週間~1ヶ月程度の熟成が目安です。)

※2 段ボール箱内の温度が10℃以下に下がると分解が進みません。日なたへ移動したり、米ぬか・天かす・糖質のものなどカロリーが高いものを入れると分解が進みやすくなります。できるだけ20℃以上になるよう工夫しましょう。